

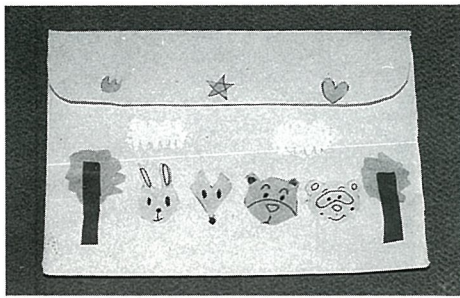
あつまれ みんなの力作

南条小学校



1年 林 亜梨沙さん

※どうぶつのかおをかい
て、たのしいおたより
いれになりました。



『おたよりいれ』



2年 鈴木重喜くん

※歯ぶらしとコップをも
つ手がむずかしかった
です。



『歯をみがく友だち』



92

我が家の家庭教育

白磯 川野英子

私の家は、小学校4年の由香里、小学校1年の章、そして主人と私の4人家族です。子供たちは、今まで仲良く遊んでいたかと思うとすぐに喧嘩を始めるという毎日です。そのくせ、どちらか一人の姿が見えないと、「お母さん、

章は？」「お母さん、由香里ちゃんは？」と互いを探して聞いてくるのがよくあります。2人きりの兄弟なので、いないと淋しいのでしょうか。我が家の子供たちは、2人とも大のお父さん子です。休みの日には、朝から晩までお父さんにべつたりで

素直な心

す。今の時期は、釣に連れて行ってもらうのが、子供たちにとって一番の楽しみです。先日、大きな魚を、章が7匹、由香里が5匹釣って、「お父さんよりたくさん釣れた。」と大喜びでした。子供の頃、このような体験の一つ一つが、

はあり
ません
が、「あ

楽しい思い出として子供たちの心に残ってくれば、親としてとても幸せです。どこの親も同じだと思いますが、私たちも子供を心から愛し、大切に育てていきたいと思えます。家庭教育など、おこがましい事は、我が家に

です。由香里が、「お母さん、ホットケーキ作ってもいい」と言いました。私は、いつもホットケーキ作りの後の台



▶2人共お父さんが大好き

所の光景を思い出し、「そんなの、今夜作らなくてもいいでしょ」と言ってしまう。すると2人で後かたづけ

をするからと言って、私のバースデイケーキをホットケーキで作ってくれたのです。「お母さん、いつもありがとう。」と言われた時、後かたづけが大変だと考えた自分がとてもはずかしく思えました。子供たちのおかげで、とても嬉しい誕生日でした。

思いやりのある素直な子供に育てていきたいと思えます。2人の子供たちを、

私自身も、まだまだ未熟ですが主人と力を合わせて、この